

## 「広島国際大学総合教育センター紀要」の創刊に寄せて

総合教育センター長 山中 浩泰

広島国際大学総合教育センターは、本学における効果的かつ効率的な教育の実践に向け、その企画・運営を図る中核組織として2013年度に設置された。現在は学園長期ビジョン「J-Vision22」を見据え、全学統一型の教育カリキュラムを2018年度より開始させるべく、教育改革に取り組んでいる。

本センターは、開設時には「学力推進部門」、「共通教育検討部門」、「教学企画運営部門」、および「FD・SD部門」の4部門構成でスタートした。学力推進部門では、入学生のリメディアル教育から自発的な学修支援に至る方策について検討を重ねている。共通教育検討部門では、地域に根差した健康・医療・福祉分野の総合大学として、その共通教育の在り方を視野に入れつつ改革を進めている。教学企画運営部門では、広島国際大学の全学教育の基盤となる「広国教育スタンダード」を策定し、全学部全学科の学生が履修するスタンダード科目を設定するに至っている。その中心科目には「専門職連携演習」(IPE)が含まれており、学部学科の垣根を越えた問題解決型の学修カリキュラムを既に開始している。一方、FD・SD部門では、教職員のスキル向上に向けて数々の講演会や講習会、ワークショップなどを毎年企画・運営し、時代に合った大学の教育環境や生活環境の提供に努めている。その後、本センターは上記のIPEを効率的かつ効果的に実施することを目的に「専門職連携演習推進部門」を立ち上げるとともに、教育資源の近代化に合わせて「ICT活用教育推進部門」を設置した。また、今年度からはキャリアセンターとの連携を図りながらより有効なキャリア教育を進めるべく「キャリア教育推進部門」を設置するに至っている。この間の歩みについては、総合教育センター活動報告書としてホームページ等でも紹介している。

上記のように、本センターは大所帯になりつつも本学教育のさらなる充実を図るべく邁進しています。その中で、この度『広島国際大学総合教育センター紀要』の創刊を迎えたことは、総合教育センターの新たな門出であり、本学教職員の皆様の研究成果や活動報告の場として、今後大いにご活用いただければと考えます。特に学会論文発表が困難な分野におきましては、研究発表の場を提供する意味においても本紀要の果たす役割はより大きいと考えます。奮ってご投稿いただければ幸いです。